

# 打倒 コロナ、官民で広がる支援の輪



アルコール消毒液5000本を福岡県に寄贈した愛しとーとの岩本初恵CEO(左)と中村社長



玉屋はマスクの余剰分1万枚を医療機関の上部団体に寄付



サナイ織物は色鮮やかな博多織をマスクにして無料配布した



采建築社が医療機関に提供した箱型ユニット。中央部に車両を駐停車し、ユニット内では隔離が必要な検査や治療・待合室などに活用できる



グリーンホテルは4月20日から「グリーンホテル2号館」を県に軽症、無症状感染者の宿泊施設として提供

県内民放各社がタッグを組み感染拡大防止へPRを実施。各局を代表するアナウンサーが系列の枠組みを超え共闘を訴える(提供…九州朝日放送)

## コロナには、まけない



提供し、同市在住者でなくても受け付け、再就職をバックアップする。

建築、新築住宅などの(株)采建築社(福岡市早良区、恵美須健也会長)は久留米市と福岡市の医療機関に箱型ユニットを設置し寄贈。今年から多目的に利用可能なユニットの新工法を企画・販売準備を進める中、緊急事態宣言が発令されたことを受け、医療従事者の安全確保、院内感染対策として、隔離された仮設病棟、診療、検査施設、受け付けなどに活用してもらおう。

これら以外にも民間企業によるさまざまな形で支援の動きが生まれている。打倒コロナへ、結束して立ち向かう。

(編集部/金縄洋右、本文に関連記事)

アンサー倶楽部は倒産や人員整理で住まいの退去を余儀なくされた人を対象に、賃貸住宅の無償提供を開始



アンサー倶楽部は倒産や人員整理で住まいの退去を余儀なくされた人を対象に、賃貸住宅の無償提供を開始



毎週金曜日の正午、医療や介護の現場で働く人たちに感謝の気持ちを拍手で伝えようと福岡市の職員らで行われている「FridayOvation(フライデーオベーション)」。通行人も一時足を止めて拍手をするなど、天神の中心が医療、介護現場の関係者へのエールで包まれている

休業要請に協力いただいた施設などへの支援

**店舗の家賃8割支援**

飲食宅配サービス

高島市長は県の休業要請を受け、市内の中小・小規模事業者に対して、十円以上店舗賃料の8割を補助する独自の支援策を全国の自治体の中でも先駆けて発表(提供:福岡市)

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、民間事業者や医療、介護現場への支援の輪が広がっている。

福岡市(高島宗一郎市長)は福岡県の休業要請を受け、市内の中小・小規模事業者に対し、店舗賃料の8割を補助する独自の支援策を全国の自治体の中でもいち早く先駆けて発表した。

店頭でマスクやアルコール消毒液が手に入りにくくなっている状況を受け、健康食品、化粧品通販業の(株)愛しとーと(那珂川市、中村浩之社長)は、同社が販売するアルコール消毒液5000本を福岡県に寄贈。県を通じ人工呼吸器使用家庭と児童養護施設などに送られた。遊技場経営の(株)玉屋(福岡市中央区、山喜多映一社長)でも、社員用に発注していたマスクの余剰分1万枚を医療機関の上部団体に寄付するなど、必要とされる人へ手を差し伸べた。

総合不動産の(株)アンサー倶楽部(北九州市小倉北区、三谷俊介社長)は、コロナウイルスの影響で倒産や人員整理で住まいの退去を余儀なくされた人を対象に、賃貸住宅の無償提供を開始。同社グループが所有する小倉北区、小倉南区のアパート2棟のワンルーム